

## 第4回 三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録

○日 時 令和4年11月14日（月） 19時00分～20時10分

○場 所 初声市民センター 講堂

### ○次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 審議事項

議 案

ア 令和4年度第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）  
会議録の承認について

(2) 意見交換

ア 市民向けアンケートの分析について

イ 教職員、保護者及び市民向けアンケートの結果の総合的な分析について

3 事務連絡

4 閉 会

○出席委員（18名）

|    |      |    |       |    |       |
|----|------|----|-------|----|-------|
| 座長 | 市川昌樹 | 委員 | 小清水宣雄 | 委員 | 札内尚   |
| 委員 | 五十嵐徹 | 委員 | 香山賢一郎 | 委員 | 柴谷肇   |
| 委員 | 山田光雄 | 委員 | 前山裕治  | 委員 | 伊藤修也  |
| 委員 | 川名大介 | 委員 | 宮坂和彦  | 委員 | 鈴木隆之  |
| 委員 | 青木広美 | 委員 | 石井宏明  | 委員 | 水越翔野  |
| 委員 | 橋本豊  | 委員 | 中澤謙介  | 委員 | 武内千恵子 |

○欠席委員（5名）

|    |      |    |      |    |      |
|----|------|----|------|----|------|
| 委員 | 中原慎一 | 委員 | 藤崎誠三 | 委員 | 小川哲男 |
| 委員 | 出口悟  | 委員 | 鈴木伸一 |    |      |

○事務局（6名）

|         |       |          |       |
|---------|-------|----------|-------|
| 教育部長    | 増井直樹  | 教育総務課長   | 塚本孝治  |
| 学校教育課長  | 高梨真一  | 教育環境担当課長 | ソリバン薫 |
| 政策部政策課長 | 矢尾板昌克 | 教育総務課 GL | 浦西伸一  |

◇座長 皆さんこんばんは。定刻になりましたのでただいまより令和4年度第4回「三崎地区・南下浦地区合同の三浦市学校教育ビジョン地域協議会」を開催いたします。

前回、修学旅行がございまして欠席させていただきました。

はじめに小川委員、出口委員、中原委員、鈴木委員、藤崎委員より欠席の連絡がございましたので御報告申し上げます。

次に、議事に入る前に委員さんの変更がありましたので、御紹介させていただきます。上宮田小学校PTA会長の橋本委員です。

(橋本委員挨拶)

それでは早速議事に入りたいと思います。

はじめに議案ア「令和4年度第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録の承認について」を議題といたします。

会議録につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆さまの御意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正については座長一任ということについて御承認いただきたいと思います。

修正等の御意見あれば御発言をお願いいたします。

(発言等なし)

よろしいでしょうか。

なければ、お諮りいたします。議案ア「令和4年度第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については座長一任とすることについて御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。御異議なしと認め、そのように決定いたします。

◇座長 続きまして、意見交換に入りたいと思います。

ア、市民向けアンケートの分析について、事務局より説明をお願いいたします。

◇事務局 それでは配付しました資料、市民向けアンケートの分析の前に、前回の協議会で皆さんに見ていただいた保護者アンケートの結果分析について、庁内で表現や誤解を招くような言葉等を若干修正したものをお配りしています。お手元にありますでしょうか。

それでは、保護者アンケート結果分析の資料をご覧ください。まず①の四角の下に2行の文章で「このことから保護者は、確かな学力を身に付け、さらに多くの子どもたち

が関わり合いながら培われる力の育成を望んでいることが分かった。」と表現をしてあったのですが、保護者の意見を教育委員会が分かったと言ってしまうのは誤解を招くおそれがあるので、削除しました。②のところで、「今よりも大きな規模の学校が良いとか考えている」という表現は、例えば、初声小学校ですと今でも複数なので、今よりも大きな規模とは言い切れないので「学年単学級以上の規模が必要」という表現に変更しました。次に⑥の「統合後の通学距離や登下校の安全について」を「統合後の登下校の安全確保について」に変更しました。最後にまとめのところの(1)で「保護者は確かな学力を身に付けること」という書き方をしていたのですが、教育委員会としてアンケートで得られたことをそのまま書いたほうがいいのではないかということで言葉を変えています。(2)も同様です。元々は「基本的には多くの児童と一緒に学び、お互いに高め合える環境が望ましいと考える保護者が多い」という書き方をしていたのですが、分かりにくい表現を改め、簡略化しました。(4)は「自由記述欄に多く記載された」を追記しています。スクールバスの意見が多かったのですが、スクールバス自体の設問はありませんでしたのでこのようにしています。ここまでが保護者アンケートの修正になります。御意見等ございましたらお願いしたいと思います。

◇座長 では、一回ここで切って学校教育ビジョンの保護者アンケート結果分析は、今日添付されているものが最終版になりますということですのでけれども、御覧いただいております点、ございますでしょうか。

(意見等なし)

◇座長 主に、修正が加わった上での最終版ということでの御提示でしたけれども、こちらを見解としていくということを受け止めていきたいと思えます。

では、続いてお願いします。

◇事務局 それでは、資料2学校教育ビジョンにかかる市民向けアンケート結果分析を御覧ください。

こちらにつきましても事前に送付したものをいただいていると思えますが、簡単に説明していくと2-①の学校との関わりについては、少なくとも1回以上学校へ行ったが31.1%、1回も行っていないが63%で、個人的には想定していたとおりでした。2-②では学校へ行った目的については、選挙が45.4%、学校行事が19.4%、文化スポーツ活動が意外に少なく6.6%ということになっています。

次に学校が地域で担ってきた役割で重要視するものとして、普段学校へは行っていないけれども、やはり防災の拠点として見たときに活用してもらいたいという意見が32.6%、地域の活動の場が19.4%、スポーツ活動の拠点が18.8%、選挙ために重要というところで16.6%でした。

その次に子どもたちの学びの場である学校が大切にすべきこととして、やはり基礎的・基本的な学力を伸ばす教育が17.9%、またコミュニケーション能力の育成は、教職員、保護者アンケートでも上位でしたが15.4%という結果になっております。

続きまして、学校が大切にすべきことを実現するための学校規模については、3-①になりますが、1学年2学級以上クラス替えができる規模が59.6%ということで大多数を占めております。これについては、保護者向けアンケートでは全学年複数学級は2番目でしたので、市民向けアンケートではクラス替えできる規模を望んでいるという結果が得られました。

その次の統廃合については、こちらも保護者アンケートとは逆転したのですが、1学年2学級以上の規模となるように統廃合すべきが38.2%、保護者アンケートでは35%でした。児童の少ない学校から統廃合すべきが23%、こちらは保護者アンケートでは65%でしたので、ここの考え方は保護者と一般市民では違いがある結果になりました。いずれにしても統廃合を進めていくという回答が61.2%、統廃合するべきではないという回答が18.2%ということで、統廃合するべきという意見が多かったということになります。

そして、今後に関わる部分になりますが統廃合後の学校施設の利用については、防災拠点や避難所であるということが26.7%で一番多い結果になりました。

市民アンケートのまとめとしては、資料に5点記載してありますが、(1)は学校が担ってきた役割は防災拠点、地域活動の拠点、スポーツ活動の拠点としての役割が必要だと考えている方が多かったです。

(2)子どもたちの学び場である学校は、基礎的・基本的な学力を伸ばす教育、又はいろいろな人に出会ってコミュニケーション能力の育成等が大切にすべきと考えている。

(3)は半数以上の市民が、1学年2学級以上の学校規模が必要と考えている。

(4)は統廃合をするべきという意見が多かった。

(5)は仮に小学校を統廃合する場合には、統廃合後の学校施設の利用については、市民のコミュニティ拠点として活用すべきとする意見が多かったということで、市民アンケート結果についてはこのようにまとめましたので、御意見等ございましたらお願いします。

◇座長 はい、ありがとうございました。

皆さんから御質問等ありましたらお願いいたします。

◇事務局 こちらは集計した結果を基に作文したものとなっております。

◇委員 これはいつ公表になるのですか。

◇事務局 この後の意見交換をする3本のアンケート結果まとめて、その後にそれをベースに学校教育ビジョンの見直しをいたします。

◇委員 アンケート結果はいつになりますか。

◇事務局 数字の集計結果はホームページで公開しています。

- ◇委員 具体的な文言は、地域協議会の会議での公開になるのですか。
- ◇事務局 この議事録は公開します。
- ◇座長 ほかにいかがでしょうか。
- ◇委員 気になるところといたら、まとめのところの(4)統廃合すべきという意見が多かったというので、波風を立てないほうがいいであろうと思いますが、その18.2%は統廃合しないほうがいいっていうことを消してしまうのは、全部が全部、統廃合すべき、と捉えられてしまうのも必要なかどうか。「若干はあったが、やはり大多数は統廃合」という数字としては18%という回答した人の5人に1人になる。全員が全員、統廃合をではないところが。
- ◇委員 61.2%という数字を入れなくて、このままのほうがいいんじゃないかってこと。
- ◇委員 統廃合については、数字上では61.2%と18.2%という比較があるんですが、まとめの(4)では、統廃合すべきという意見が多かったというまとめになってしまっているの、これだけだと全部統廃合すべきという意見だったと教育委員会では解釈していると思われるのでは。18.2%の内訳は分かりませんが、交通手段によって反対しているのかここでは分かりませんが、そういうところを含んでもいいのかなど。
- ◇座長 具体的にどんな文案でいきますか。
- ◇事務局 今、思い浮かんだのは「統廃合すべきとする意見が保護者アンケートよりは多かった。」とかはどうですか。
- ◇座長 保護者向けアンケートと比べるものではないかなと思いますね。
- ◇事務局 確かに2割くらいの方が統廃合すべきではないという意見もあります。こちらについても一定度の配慮が必要だと思いますので、こちらの表現については断定的ではないという形で、少し持ち帰りまして検討したいと思います。
- ◇座長 では2割の方への配慮を入れた文章というところで。
- ◇委員 細かい分析は出ていましたか。統廃合すべきではない18.2%の中で例えば条件付きで賛成とかはないんですよね。
- ◇事務局 そういった設問がないので、その内容はなかなか確認できません。
- ◇委員 もしかしたらその18.2%の中には、そういう方もいるかもしれない。

◇委員 数字が出ているのに、そこだけがフューチャーされてしまうとアンケート取っていないのかなと思われるところですね。この文章を全部読めば分かるんですけども回答した方が理解してくれるかどうか。

◇事務局 その部分については配慮したものに改めたいと思います。

◇座長 では、その部分はお任せということでお願いします。  
ほかにお気づきの点等ございませんでしょうか。

◇座長 では、市民アンケートは一旦ここまででよろしいでしょうか。  
それでは、市民アンケートにつきましては以上といたします。  
続きまして教職員、保護者及び市民向けアンケート結果の総合的な分析について、資料3により事務局より説明をお願いします。

◇事務局 それでは資料3を御覧ください。

タイトルのとおり教職員、保護者、市民の3つアンケートを行いました。それにつきまして、教育委員会として考察ということでまとめたものです。今日はこちらについて協議していただき、意見をいただきたいと思います。

まず学校教育に重要視するもの①のところですが、教職員、保護者、市民のアンケート結果について記載しています。すみません、教職員の一つ目の黒丸で「他社」が会社の社になっていまして、者ですので「他者」に修正をお願いします。

やはり共通しているのは、コミュニケーション能力を養うことが望まれているところで、教職員向けのところには基礎的・基本的な学力を伸ばすという言葉は出てこないんですが、保護者、市民においては基礎的・基本的な学力を伸ばす教育が望まれている結果が得られています。

枠の下に2つ丸がありまして、コミュニケーション能力の育成と社会性の育成については3つのアンケート全てで回答が多かった。その他、多様な考えに触れること、自尊心思いやりの心の育成、基礎的・基本的な学力を伸ばす教育の回答が多かったと捉えられる結果になっています。その下の教育ビジョンが目指す教育体制を整えることで、児童同士が関わり合い学べる機会が多く恵まれるのではないかと考えており、こういった上記のようなことで「生きる力」を効果的に育むことができるのではないかと考えております。

裏面に続きまして、②望まれる適正規模についてです。

1学級数あたりの人数については、教職員も保護者も21人～30人の規模が理想的だと回答された方が多かったです。学校規模については7～11学級保護者の回答が32.5%、12学級以上と回答した方が24.1%、学年単学級以上の規模を必要とする回答を得ています。教職員の6割以上が、12学級以上が必要であると考えている。市民アンケートについてもクラス替えできる規模を必要とする回答が多くありました。適正な学校

規模としては、教職員、保護者、市民の多くが学年単学級以上の規模を必要としているということが共通していると考察できます。

③解消すべき保護者の不安ですが、保護者アンケートで1学年複数学級が良いと考えるが統廃合には反対するという回答が16.9%ありました。その理由としては通学路の安全性が心配であるとの回答が46%あり、自由記述の中でもスクールバス運行の希望が多くありましたので、今後、検討していく課題があると捉えています。

④課題解消しつつ必要と考えられている学校規模へということで、1学級あたりの必要人数について21~30人という回答が多かった中で、児童の減少により、この規模の学級・学校を維持していくのは難しい現状があると思っています。また、段階的な統廃合をすべきという意見が保護者の中では65%、市民の中では22.9%での割合の回答がありましたので、必要な学校規模を維持していくためには、段階的な統廃合を進めていくことが必要ではないかと考えております。

⑤の学校施設の活用については、統廃合後の学校施設利用は市民の意見を反映させながら活用の方策を検討していく必要があると受け止めております。

3つのアンケート結果分析については以上です。

◇座長 はい、今までの我々が検討してきたアンケート内容を受けた結果、このような形で分析しましたというところで、御説明いただきました。

御質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

◇委員 教職員、保護者、市民を四角枠で囲った意図は何ですか。

もう一つ、裏面は気にならないのですが、表面の文言の区切り方が中途半端で読みづらいので、見やすい表記に変えてもらいたいです。

◇座長 文章の体裁のところは直してもらおうということで。

◇事務局 この部分については一番根幹になる部分だと思っています。保護者も教職員も市民の皆さんもどういった教育を今後小学校で提供していくことが良いと思っているかということですので、その結果上位になったものはきちんと見やすいかたちで入れるべきだと考えた結果、このような体裁にさせていただきました。

◇座長 非常に見やすくなった分、教職員のところにも基礎的・基本的な学力を伸ばす教育がないのがとても分かりやすく見えますよね。

◇委員 誤解がないようにということで、そもそもその項目がなかった。学校ってそもそも知識読み書き計算とかが大事なのは分かるんですけども、最近はそれをどのように使って何ができるかとか、思考力が必要になってきています。おざなりにはしてなくて大前提条件と認識していただければよいのかなというところですよ。

◇委員 自分も思ったところなんですけど、これ絶対突っ込まれる、保護者と市民は学力を伸ばす教育が入っているけれども、教職員に関しては何もない。自分たちみたいに関わっていれば話はわかるけれども、まったく関わっていない保護者や市民からすると学校って学力を伸ばさないのってアンケートだけを見ちゃうと絶対に思われると思います。それが大前提であるのは分かるんですけど、これだけを渡されたらこの情報しかないのって学校って学力を伸ばすところじゃないのってなりかねないかなって思いました。

◇座長 四角く囲ったことによって非常に見やすくなった分、分かりやすくなってしまった。

◇事務局 今、無い理由は委員がおしゃってくれましたので、その辺りが分かるような工夫をしたいと思います。

◇委員 もう一点、裏面の②の市民のところもパーセンテージがあると分かりやすいのかなと思いました。市民のところがざっくりなってしまうので、もし出せるのであれば表記を統一したほうが分かりやすいかなと思います。

◇座長 具体的には何%くらいでしたか。

◇事務局 59.6%です。

◇座長 ほかにいかがでしょうか。

◇委員 言葉の表現だけなんですけど、小学校のアンケートを含めてこの今回のまとめだけ「1学級あたりの人数」という言い回しなっているので、それまでは「1学級あたりの児童数」とか文言の言い方と、あと④のところでもここだけ「1学級あたりの必要人数」とあえて必要を付ける理由はなんですか。質問でも「必要な人数は」とは書かれていないので、そのまま「1学級あたりの児童数」とかで、あえて必要と付けるのはどうかなど。

◇事務局 特に意図をもってはいないです。先程の保護者アンケートの修正についてもアンケートで使った文言はそのまま生かすという視点で見直しを行いましたので、今の御指摘をいただいてまだまだ見直しが不十分だと分かりましたので、もう一度そういった視点で見直しをして、アンケートで使用した質問の表記等を使うようにしたいと思います。

◇座長 御指摘ありがとうございました。  
そのほかいかがでしょうか。

◇委員 ②の最後のところで「適正な学校規模については、教職員、保護者、市民の多くが学年単学級以上の規模を必要としていることが共通していた」とありますが、全体で何%以上が必要だよっていうのを総合計で出したほうがいいのでは。

◇事務局 ここについては、学年単学級以上という言葉も含めてなんですけどどこまでというのが捉え方として、例えば複数学級がいいと思っているけど統廃合は反対だよっていう部分をどっちに含めるのというのが非常に難しいところがあるので、ここについては、あえてパーセントを出さない表記にしてあります。

◇座長 母数が異なるので中々一緒に出来ないと思うんですけども。

◇委員 同じ②の適正規模のところについて「保護者は21人～30人の規模が理想的だと回答していた。」だと断定的かなと思ひまして、「理想的だとする回答が多かった」というほうがいいかなと思ひました。

◇座長 丁寧に見ていただいてありがとうございます。  
そのほかいかがでしょうか。

◇委員 ⑤の学校施設の活用についてのところで、何を言いたいのかがもやっとしていて、市民の意見を反映しながらというのは、すでにとった意見のことなのか、これから取ることを想定しているのか、これだと読み取れないので例えば市民のコミュニティ拠点についてという意見が多かった。と書いてあるのでそういうことも伝えながら学校施設利用については、市民の意見をの“を”よりも“も”のほうがいいんじゃないかと、この活用は誰のためなのか、今後の活用は市民のために幅広く、このアンケートを生かしてのところじゃないと思うんですけども。

◇委員 ⑤の統廃合後のって書いてあると受け手によって、統廃合は決定だと変な風に捉えられちゃうので、例えば統廃合をした場合はとかにしたほうがいいと思います。

私みたいに今後の児童数のことを考えれば、統廃合すべきだと考える人間には素直に入ってくるんだけど、一貫して反対の立場を表明している人たちから見るとこの文言を見ただけでは自分たちの意見は関係ないんだって、統廃合ありきの話じゃんって変な言葉のやり取りになってしまうと思います。

◇委員 統廃合の意見が多かったことから、市民の意見も反映しながらとか。

◇事務局 御意見をいただきましたので、そのような方向でもう一度見直したいと思います。

◇座長 はい、ありがとうございます。  
そのほかいかがでしょうか。

◇委員 ⑤の最後の「検討する必要がある」って書いてあると教育委員会が検討すると思われてしまうので、三浦市全体でといった文言が入っていたほうが市民も市も考えてくれているんだなってなると思います。

◇座長 実際には市全体で考えているんですよね。そこが明確になるようなかたちでお伝えしていこうということですね。

◇委員 表面に「多くの意見をいただくことができた」ってあるじゃないですか、入れるべきかどうかは迷っているんですけども、回答数が分析に対して有効だというような文言、それぞれ何割の方が回答いただいたとか全体的なこともあったほうが、そもそもそういう回答数に対してのものは全部ないから、要らないのかなと思うんですけど、入れてもいいのかなとも思います。

◇事務局 それは庁内で検討したいと思います。

◇座長 いわゆる研究論文にはそういうのが数字的な根拠を示すのが必要なんですけれども、そこまでやるかどうかということも含めて判断をお任せします。  
ほかにいかがでしょうか。

(意見等なし)

◇座長 では、結果分析からということでの大きなまとめとしてはこちらでよろしいでしょうか。

◇事務局 御意見どうもありがとうございました。

今後どうするかという話として、この3つのアンケートの結果を基に学校教育ビジョンについては改訂版をこれから書き始めていくということになります。

このような結果のもと、教育委員会で考える基礎的な柱になる部分の別資料を本日配付しますので今から御説明させていただきます。

これからの学校教育ビジョンの見直しの柱を3つ掲げさせていただきました。

一つ目は、学校を適正規模にするための段階的な統廃合。

二つ目は、登下校時の安全確保のための具体的な方策として、スクールバスの運行や保護者の経済負担削減等ですね、こちらの具体的な方策を示していきます。

三つ目は、先程施設の話もありましたけれども、学校施設の有効利用における市民の意見を反映していきます。というところを含めたこの3つの柱を学校教育ビジョンの改訂版ということにしていきたいと思っています。

これについては、今のところ教育委員会が考えた柱ですけども、委員の方からも御意見をいただきたいと思っています。

◇座長 今の3つのまとめのところでまとめていくと今後の考え方として3点でいきたい、これを基に学校教育ビジョンの改訂を文章化、可視化していくという方向性で進みたいという説明でしたけれども、いかがでしょうか。

◇座長 南下浦地区のほうで色々話している中でこの段階的な統廃合ということに関しては、一番最初の地域協議会がスタートした段階で4つの小学校を1つにしていこうというところで、それはいくらなんでもという話があったんだけど、段階的にくっつけていくと一人の子が何回も統廃合を経験することになるんじゃないか、それはあまりにも可哀想ではないかというところで、それなら一気に進めていこうというようなことから南下浦地区は議論がスタートをしていったという風に記憶しているんですけども。

◇委員 文部科学省が掲げる学校規模と合算したときの適正な施設の利用ができるのかとか、災害等が起きたときにデメリットじゃないですけど、どの学校を無くしたいという意見ではなくて、総合的な状況を考えてときにこうしたほうがいいんじゃないかっていうのを南下浦地区ではずっとお話をさせていただいていたと思います。

根本的には児童数の減少、三浦市に児童が増える見込みがないという中で、絶対的に将来的に避けられないから、こういう教育ビジョンの問題が出てきているわけだから、その心配がなければ検討する余地もないわけが必要もないんだけど、今でさえそういう状況の学校があったりしての教育ビジョンだったので、南下浦地区では子どもたちが嫌な思いをしないように精一杯議論をしてきたわけですからね。

◇座長 それが今度、段階的な統廃合となると南下浦地区ではどのように受け止めようかなと少し考えながらというところはあります。

◇委員 実際、南下浦地区はお子さんがそれぞれ別の学校に通っているというのもあって、私も孫が人数の少ない学校にいて一時期は悩んだ部分があるのでこれから先そういう親御さんは増えていくだろうし、やっぱり子どもたちが1年生のときに統廃合したけれども2、3年後にまた統廃合になったとなると、子どもたちに与えるショックというのがあると思うから、そういうことも考えていかなければならないですよ。

◇座長 そうですね。南下浦に戻ったときにどうしようかということで、一回統廃合したら6年間は統廃合しないというような見通しがあるのであれば、まだなんとか段階的なということは受け入れられるかなと感じます。

◇委員 その段階的にやったときに、目的というのはおそらく複式学級は避けられるではないですかね。段階的にやっても21人~30人には届かないじゃないですか。

そうするならば段階的っていうのに複式を避けるという意味があるのならばいいのかもしれないけれど、もう少し先を見たときにまたやらなければならないという問題が出てくるわけですよ。段階的にはどうなのかなと思うけれども、保護者は65%が段階的がいいって言っているからそれを無視するわけにはいかないですからね。

南下浦地区の話をしてましたけれど、三崎地区も三崎小学校は令和10年には2、3年生は複式になってしまう可能性があるんですよ。1学年の人数が10人を切っていく、男女のバランスが崩れていく、となると上の子と下の子が違う学校になるのが見えてくるわけですよ。なので、南下浦地区だけの問題ではないってことです。

岬陽、名向は2クラスはないけど21人〜30人はいる、三崎小は10人〜20人はいるとそんな感じになってきているんですよ。

2つ言いましたけれども、段階的にというのはどこまで考えればいいのかということと南下浦地区に限ったことではないということですよ。三崎地区のほうが学校同士が近いので起きやすいと思います。あとは上の子と下の子が違う学校だと同じ日に運動会はできないから学校行事も考えなければいけない。そういう問題も出てくると思います。

◇座長 南下浦地区のことだけを考えているわけではないんですけども。

◇委員 同じように段階的にのところで、教育ビジョンを改定するというので一旦、令和7年度というのは白紙になりましたけれども、これで今回、段階的にと入ったときに最終的なゴールというか、何を目指していくのかということがおそらく教育ビジョンには求められてくるのかなと思うんですけども、そうすると例えば三浦市の小学校がこういう段階を踏みながら、こういうところを目指していきますよっていうような規模的なものも含めてそういうものを新しい改訂版の教育ビジョンで示していくということではよろしいのかなと思うんですけども、そこはいかがでしょうか。

◇事務局 まず、今日お示したのは、3つのアンケートを基にこういう柱で教育ビジョンの改訂を考えていきたいということで皆さんからの御意見もお聞きしたということです。

今、各委員さんのお話を聞いていて、短く書くということですけども、ここに至るまでには教育ビジョンとして提示すべき事柄、考え方、ゴール地点をどのようなものを目指していくのかといったところも必要であろうという御意見をいただいたと思います。

まだ今日の段階で教育委員会事務局としてゴールをここに設定しますとは言えない状況ですので、今日の御意見をいただいてどのように改定していくべきなのか、最終的にはどういうものを目指していくのかというのをしっかりと考えていき教育ビジョンの中にどう盛り込んでいくべきかを考えたいと思います。答えになっていないかもしれないですけども今は皆さんの御意見をお聞きしてどのように改訂すべきかということを考えたいと思っています。

◇座長 結局ここで回答を引き出す会議ではなくて、いろんな意見を持ち寄ってそれを受けながらより良い教育ビジョンを作って、我々が市民の代表としてお話をしていることが学校教育ビジョンとして出されたときに市民の方もそのように受け止めるだろうというところでは、今我々が出している意見はすごく貴重な意見なんだろうなと思っています。

ますので、そういう意味では今出されている部分を含めて気が付いたことはどんなことでもお伝えしたほうがよろしいかなと思います。

◇委員 これまで長い時間をかけてアンケートをやっていたいてありがとうございます。

この3つがアンケートで出た答えなのかと思うんですけども、保護者としてビジョンを並べたとします、今回のようなビジョンでは具体性がないとなるとまたざわつくと思うんですね。先程おっしゃっていましたが「段階的な統廃合」と書かれているとどうなのか。スクールバス、具体的な方策、提示、安全のために作っていくというのは大事だと思うんですが、ビジョンに載せるべきではないんでしょうけど、本当に具体的になった状態で発表されたほうがいいと思います。段階的な統廃合にしても、ここここはこの人数なのでくっつきます。バスがこういう状況みたいながあるとお母様方も、うちの妻もそうなんですけど教育ビジョン読んでいても正直、頭に入ってこない、ただ一つだけ分かっているのは学校が統合するっていうところだけが先走っちゃっている。何か一つ具体的なかたちで、じゃあ三崎小学校は5年後にはなくなるのかというのが書けるのかどうか、別のものを御準備しといていただけると伝える側としても伝えやすいかなと思います。

◇委員 私は、この学校教育ビジョンが始まったときから委員として関わっていて、言いたくないことも言ったりと、資料を見て協議してここまできているので、今回のものを公表してまた反対意見が多くなったら、市長がまた見直しをするぞってなるともう正直勘弁してほしい。

◇事務局 アンケートをきちんと取りましたので前回の協議会でも確認していただいたとおり市民意見はこのアンケートで把握できたと考えておりますし、皆さんが代表で出ている地域協議会の中でも確認できましたので、委員が御心配されているようなことはないと思います。

◇委員 どんな議論でも賛成の人は一貫して賛成だろうけど、反対の人はどんなアンケート結果が出たとしても自分の信念とかがあるわけだから、やっぱり反対の意思を貫くと思うんですよ。だからそこに流されちゃいけないというか、一回見直しを行ったのだから、そういう方向性を今後見直しはせずこういう3つの柱でいきますみたいなことだけでも示していただけたらなと思います。

◇事務局 それを決めたいために皆さんに意見をお聞きしております。

◇委員 前回はそう言って、こうなっているわけだから

◇座長 もう一つはなんで統廃合をするのかなっていうところを最終的に子どもたちにとって豊かな教育を保障していきたいんだっていう、そこが教育ビジョンだと思うんで

すよね。そのための手段として統廃合を三浦市は選ばざるを得ない現状なんですよ、と御理解いただくという論調でね。我々三浦市の教職員は誇りをもってやっていますし、本当に子どもたちのことが大好きで一生懸命やっている部分、これをさらにもっと豊かにしていくためにはどうしたらよいかというところを示しているのが学校教育ビジョンという位置付けになりますので、この柱の中には入っていないんだけど、そのところが夢が見られるっていうのかな、三浦市に引っ越してこようかなって思えるようなビジョンになってくるとありがたいなと思います。

そういう部分では、小中一緒の9年間の義務教育を見ていきたいと思いますというようにことが前回の教育ビジョンで出されていた。そのためには1小1中がいいよね、だから4つの小学校を集めましょうというような流れだったと思うんですけど、別に乱暴にまとめたわけではないと僕は理解しています。小中一貫って1小1中をイメージしたときに南下浦地区の場合だったらどこをくっつけましょうかとなったらまた論議が変わってくるじゃないですか。今、上宮田地区が大きいから上宮田小にしようかなと思うけれども小中で繋がることを考えたら南下浦小に全部集めたほうが小中はやりやすいよねとか、そういうことを考える視点というのはある意味見えていたかなと思っていましたが、これが段階的となってくると、どの辺を視点にどの学校をくっつけるのか、人数だけだというような感じの選び方になっちゃうところが実際進めていく立場になると心配だなということにこだわっていましたが、市民の意見が段階的になるのでこれを受けながら行くんですけども、これを目指しているから段階的に繋げていこうという論議にしているように思います。

◇委員 この段階的というところのアンケートを見たときに、これ取り間違えた可能性があるというアンケートを答える側が例えば複式学級が解消できない場合に段階的、さっき言っていたようにまた数年後やらなければならぬわけじゃないですか、そこまでイメージしてアンケートを答えた人が答えているのかどうか、少し不安な部分がありまして多分そこまでの細かい説明をしないまま、段階的にやるほうがショックが少ないと思っちゃっているんですよね、逆に勘違いをして。だから総合的な判断をアンケートが段階的が多かったから段階的で行こうじゃなくて、そういうアンケートもあつたんだけど教育ビジョンの協議会で考えて、また3年後児童数が少なくなってすぐに統廃合をしなければいけない、子どもたちがショックを受けるしんどい部分があると思うからこういう段階的ではなくて1小1中でやりました、くらいの強い姿勢を僕は必要なんじゃないかなと思いました。

このアンケートに関わっていく中でそこまでイメージをして意見できなかったのは申し訳ないなと思うんですけども、段階的に進めていくというのは無駄な時間を作ってしまうんじゃないかなと危険があるので、今の座長の話の聞くと段階的よりも一気に進めてしまったほうが最終的に子どもたちのストレスは減るんじゃないかなと僕の中で判断があるので、そこら辺も含めてアンケートの結果だけで進めてはほしくないなと思いました。

◇座長 ありがとうございます。

受け止めながら、色々協議しながらこの言葉っていうのはこういう風にしていこう、それが学校教育ビジョンの豊かな教育を目指すための具体的な方法としてそれぞれの地区の状況に合わせたかたちで進められるといいのかなと思います。

◇委員　すごい言葉を選ばずに言ってしまえば、反対が起きたから折衷案の段階的にすれば妥協案にいくみたいな印象を持ちました。

今度、子育て住宅が南下浦センターのところに建つけど、27世帯しか増えない。けれど、27世帯の方たちは教育ビジョンを見るかもしれないし、発表すれば報道機関が出てそのときに先程座長が言っていたように6年間は統合しないという見込みがあるっていうのは、あるかどうかだけでもかなり引越してくる、こないの印象が違うのかなと思っています。やっぱり三浦市に住みたいって他所からの人にも思ってもらえるし、ここで子どもを産みたいって思ってもらえるようなそういう学校教育ビジョンに作り直してもらえたらなと思いました。もちろん三崎のほうに引越してくる人にもそういう風に思ってもらえたらと思います。

◇座長　安心して任せられる三浦市なんだということをなんとかPRしていきたいということですね。

◇委員　段階的というのがキーワードになっていて今後も玉虫色に光るところになってくるんだなと話を聞いていて思いました。なんのために段階的にするのか私も疑問に思っていて、段階的でどんなメリットがあるのかどうか、教育委員会の中でもし見つけられればいいなと、段階的にするからこそやりながら軌道修正ができるようなものや、そういうものがあつたほうがいいと思います。誰かに言われたから段階的に行う、ハレーションを抑えるために行うのではなく、段階的にすることでどういう階段を作っていくのかということについては、今後、教育委員会がビジョンを作っていくのかそれとも地域協議会の中での課題として考えていくのか。

私の段階というのは例えば極論ですけど、南下浦地区の小学校を4つから1つにする、落ち着いた後に三崎地区の小学校をどうにか考えていく。これだって段階的といえれば段階的なんですよ。問題はどういう階段にしていくかについては教育委員会も、私たちも、市民も一人一人違う認識を持っているんじゃないかなと思っています。ですので、どっちが先なのかということですよ。この後、地域協議会で作っていくのか、教育委員会で理想的な階段を設定していくのか。

◇委員　この間のスクールバスと一緒に初声地区を試験的にやってみる、そこから統廃合も委員が言ったように南下浦地区を先にやってみてその結果がこうですよ、そしたら今まで悪いイメージしかなかったものが、逆に良いイメージで子どもたちの様子とかを見てこういう結果だからと示すことも出来るし、この3本柱の一番上のところを屁理屈を言うわけではないですけど、最初の1小1中に向けた統廃合が反対が出て見直しになり、この文言だけ見ると段階的なを言葉尻を変えて段階的なものを含めてとかにすれば

逃げ道ではないけど段階的に行うってすると段階的になって言ったじゃないかってくると思うんですよ。

◇事務局 この3つはまだ今日御意見を聞くためのもので、これが決まっているものではありません。

◇委員 言葉を選ぶのであればもう少し考えたほうがいいです。

◇事務局 そのようにしていきたいと思います。

先程の委員がおっしゃっていただきます教育委員会の考えでいくのか、地域協議会で考えていくものなのかということですが、基本的に今後、教育委員会が考えていきます。その過程の中で皆さんに御意見をいただきたいということがあれば、御意見をいただく機会を設けることになると思います。

◇委員 今後の我々の地域協議会の役割についても一定のビジョンがあるといいなと思います。そもそもビジョンをどうするかを考えるのが私たちの役目で責務だったのではないかなと、今後の私たちの予定も分かるといいなと思います。

◇事務局 見直しについても最終的な三浦市の学校がどうあるべきか、どのような教育を提供していくべきかということを中心にきちんとゴールとして見据えた上でやっていきたいと思っています。

それがなければ皆さんがおっしゃっているように、付け焼刃のように批判を避けるためだけの改訂になるという風に理解をしておりますので、そういったきちんとした考え方もってビジョンの見直しを進めてまいりたいと思います。

◇座長 はい、よろしく申し上げます。

子どもたちの状況に関しては待ったなしの状況となっているところが正直ありまして、そういう意味では歩みを早めていかなくちやいけないうちもありますので、ぜひ皆さんでまた知恵を絞り合っ一緒に三浦市の教育を作っていければと思います。

では、お時間がきていますのでここまでにさせていただきます。

事務局から何か事務連絡はありますか。

◇事務局 先程も申し上げたとおり、また12月に地域協議会を開催したいと思っております。そのときには、学校教育ビジョンの見直し（素案）について、御意見をいただきたいと考えております。

◇座長 では、日程の調整をよろしく申し上げます。

その他、全体をとおして何かよろしいでしょうか。

以上をもちまして三崎地区・南下浦地区合同の令和4年度第4回三浦市学校教育ビジョン地域協議会を閉会いたします。

お忙しい中、お疲れのところ御出席いただきありがとうございました。

◇ 20時10分 閉会 ◇